

## 宏はこう考える！（大量退職時代の人事政策）

現在、職員数約 970 名の我孫子市役所も、団塊世代が大量に退職する時代を迎え、今後 5 年間で約 200 名もの市職員が定年退職となる。マネジメントの中心である部長級・課長級が一挙に交代せざるを得ない状況となり、新たな人材登用・育成システムが急務となっている。このような状況の中で、市役所の人材登用・そして人材育成について、どのような方針・方策で進めていくのか、首長の手腕が問われ、その自治体の将来を左右する喫緊の課題となっている。

行政改革とは、行政自らが改革を進めることである。その中心にいるのは職員である。職員自らが改革を進める市役所とならなければ、本当の行政改革はできない。例えば、埼玉県志木市では昨年 10 月に「志木市人材育成基本方針」を策定。サブタイトルは「自己改革が組織を動かす、そして志木市を変える」となっている。詳細は割愛するが、求められる人材、人材育成の現状と課題、人材育成への取り組みを綿密に積み上げた内容になっている。

我孫子市も、平成 14 年度に作成された「人材育成方針」を現在の社会環境の変化や公務員制度改革の趣旨を踏まえて、徹底的に見直しを行い、新たな人材育成方針を策定し、その方針に従い、新たな人材育成システムを構築する時期にきている。

「なせばなる なさねばならぬ何事も ならぬは人の なさぬなりけり」

ご参考： 我孫子市役所職員定年退職者数

平成 18 年度（平成 19 年 3 月末）34 名（含む途中退職）  
 平成 19 年度（平成 20 年 3 月末）45 名＋途中退職  
 平成 20 年度（平成 21 年 3 月末）37 名＋ “  
 平成 21 年度（平成 22 年 3 月末）39 名＋ “  
 平成 22 年度（平成 23 年 3 月末）43 名＋ “



### 2007-1-21 投票日 市長選挙／市議補選の結果

市長 **当選**星野順一郎 30177 票 ・あつみ省一 16738 票  
 投票総数 46915 票 **44.38%**

市議補選 **当選**飯塚まこと 15714 票／宮城かずこ 12765 票 （定数 2 名）  
 投票率 **44.36% (37.66)**

・佐藤ゆき子(共)6403 票・やぶき啓子 5374 票  
 ・西垣 一郎 4130 票・今井 洋一 1586 票

宏と語る小さな小さな  
 ティーパーティー開催中！  
 お気軽にお電話下さい。

いんなみ ひろし  
**印南 宏**  
 後援会事務局 7 1 8 4 - 2 8 6 0  
 自 宅 7 1 8 9 - 1 5 9 8  
 我孫子市布佐平和台 7 - 1 - 1 8

行政相談もこちらへ！  
 ご意見をお待ちしています。  
 ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>  
 E-mail [innami@mqd.biglobe.ne.jp](mailto:innami@mqd.biglobe.ne.jp)



# ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2007. 3. 22 No.33

### 平成 19 年 3 月定例市議会 星野順一郎市長 初陣の市議会終了！！

春は出会いと別れの季節。我孫子市では、福嶋前市長からバトンを受けた星野新市長が初めての定例市議会に挑みました。3 月議会の主な議案は新年度予算案です。福嶋市長時代は、毎年予算修正を行って議会の承認を得ていましたが、この三月議会は四年ぶり？に予算案無修正で議会を通過しました。

しかし、福嶋市政の残した財政基盤の危うさは顕著になっています。星野市長は、一刻も早く健全で安全な財政基盤を確立しなければなりません。そのために、若い世代の定住化・人口確保に努め、地域の活性化に向けて手腕を発揮していかなければならなくなっています。

### 平成 19 年度第一回定例市議会！

会期：2 月 26 日(月)～3 月 19 日(月) 22 日間 一般質問は 3 月 5 日～7 日、  
 常任委員会 3 月 8 日～13 日、  
 予算審査特別委員会 3 月 14 日～16 日に開催。

議案： 新年度予算 314 億 52 百万円(+2.9%)をはじめ 32 議案を審査しました。主な議案として、副市長を定める条例の制定、市民会館を 3 月末に廃止、国民保護対策本部及び我孫子市緊急対処事態対策本部条例の制定、中小企業資金融資条例の一部改正、議員発議案として議員報酬の削減、報酬の日割り支給制度の導入などすべての議案を可決・閉会しました。



### ♪ あびこ 21 会派代表質問骨子 ♪

- ・新市長の所信表明より最重点施策・基本構想と第二次基本計画について
- ・手賀沼文化拠点構想・地域経済活性化策・いじめ問題
- ・手賀沼公園坂通り・我孫子駅舎のあり方・成田線輸送改善調査
- ・中核市に伴う柏保健所問題 他

『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に

## 新年度予算が成立！

争点：

新年度予算の審査は7名の予算審査特別委員会を設置し、三日間延べ20時間にわたり慎重に審査を行ないました。審査では各委員から多くの意見が寄せられ、特に「子ども総合計画」については、昨年の予算審査特別委員会でも同様の議論があり、改善が不十分な点など多く指摘されました。

その中で①チャレンジワーク事業は児童一人当たりに係る経費が大きいこと、コースの選定について検討が不十分な点など意見が集中。19年度事業を実施した上で、きちんとした検証を行なうことを強く要望されました。②子ども交流拠点整備事業は建設位置の見直し、土地利用のあり方、施設そのもの見直しを含め、予算の執行について慎重に行なうことを執行部に確認をしました。③子どもの居場所づくり事業は実施にあたって議会常任委員会への説明・協議を踏まえて行なうように求められました。

農産物直売所設置事業については、アンテナショップの期間が短く、ニーズ調査が不十分であり、周辺に同種の施設もあることから事業として成り立つのか不安視する意見が多く出ました。

新木3丁目の土地を売却する形で予算編成されている問題では、平成18年度決算状況を見た上で、財源の手当てがつけば売らないことを確認し、売ることになっても常任委員会に了解を得ることが条件となりました。

## 星野市長の新たなまちづくり！

今回の予算は星野市長のもとでは初めての予算とはいえ、まだまだ多くの事業で従前のやり方を踏襲したものとなっています。星野市長のもとで新しい執行体制を速やかに確立し、市民のための新たな我孫子づくりを望む声が多く出されました。

地域要望（請願・陳情）

- ①中央学院高校下農地に路線・貸し切りバス待機所差し止めの請願（ニュー東豊）
- ②聖仁会病院跡地南側斜面に現存する自然林と地形の保護に関する請願（飯田産業）
- ③新木駅南側地区、地区計画変更に関する請願（「真光」新興宗教進出問題）

◇19年度予算案より（抜粋）◇

- 乳幼児医療費助成の拡大  
4歳児までではなく就学前までの乳幼児補助 4224万円
- 小中学校の耐震大規模改造  
我孫子中の工事／湖北台西小の設計 8310万円  
08年度に新木小と湖北台西小の工事行なう。
- 新木小プールの一般開放 1080万円
- 電子入札システムの導入  
千葉県電子自治体共同運営協議会 320万円



### ♪ 是非、ご覧下さい!! ♪

印南が代表を務める

「あびこ21」ホームページ <http://abiko21.exblog.jp/>  
我孫子市 公式ホームページ <http://city.abiko.chiba.jp>

## 我孫子駅の改修について（あびこ21代表質問より）

**質問：** 我孫子の玄関口である我孫子駅舎の改修に向けて、現在、JRが全体概略図の作成を進めていると聞いている。市とも協議を重ねながら進められていると思うが、全体概略図の作成とその後の改修方針・スケジュールについて確認したい。

また、財源については、まちづくり交付金の活用など、今から幅広く検討する必要があると思っている。現在進めている「手賀沼文化拠点構想」で、駅舎までを範囲内とし、この事業の位置付け、補助対象にすることも検討に値するかと考えるが、如何か？

**答弁：** 市は2月1日及び2月20日にJR東日本東京支社に行き、支社長に我孫子駅舎の改修を実施していただくよう強く要望してきた。

我孫子駅舎の全体外略図は、現在、本年6月を目途にJR側が作成している。今後は、整備内容やJRとの費用負担の考え方を整理し、議会と協議を行い、了解をいただいた後、具体的な整備時期や方針を決定し、JRが交通バリアフリー法で予定しているエレベーターの設置年度である平成22年度に合わせて整備していく。

財源については、まちづくり交付金や都市再生交通拠点整備補助金、ご指摘の手賀沼文化拠点構想事業への位置付けなどを含め、あらゆるものを活用していきたいと考えている。



**！注意！** 2007年4月から「**市民活動災害補償制度**」が変わります。 **！注意！**

市民活動を安心して行っていただくために、活動中に起きた事故によるケガなどの傷害や賠償責任を負った際の負担を市が契約をした保険で保障する「**市民活動災害補償制度**」が4月から「**市民公益活動保険**」に変わります。

主に、次のような点が変わります。

1. 補償の対象となる活動がボランティア活動などの「公益的な活動」に限定され、スポーツ・レクリエーション活動や文化活動など、自己の楽しみの活動や趣味を深める活動は対象外となります。（但し、ボランティアの指導者は対象）
2. これまで、それぞれの担当課に提出していた事故報告書の提出先が、今後は全て市民活動支援課になります。

この保険は登録制ではなく、補償の対象となるかどうかは、事故が起きた際にどのような活動をしていたかで判断されます。万が一、事故が発生したら14日以内に、我孫子市市民活動支援課 04-7185-1467（直通）までご連絡下さい。